

今年の總産額は 七百八十二萬餘圓

公私有林伐材の首位は久慈郡が占め

副産物、石材、土石等何れも増産

昭和十一年に於ける本縣の林野産物總価格は七百八十二萬三千四百十九圓にして内公私有林伐採三百五十九萬一千八百二十一圓(四割五分九厘)林野副産物三百二十萬九千四圓(四割一分)石材土石百二萬二千五百九十四圓(二割三分一厘)である。而して之を郡別に觀るときは久慈郡の百五十五萬八千八百七十四圓が第一位を占め西茨城郡の百萬二百七十六圓、新治郡の九十萬一千三百九十二圓、那珂郡の七十九萬四千八百六十三圓、東茨城郡の七十一萬一千三百三圓、多賀郡の六十九萬六千二百五十四圓の順で、其の他五十万圓を超えざるものは眞壁、筑波、鹿島、稻敷、猿島、行方、結城、北相馬の順位である。更に公私有林伐採、林野産物、石材土石を各別に示して見やう、

町七反、伐採總價額三百五十九萬一千八百二十一圓にして之を前年に比すれば伐採面積に於て七十町一反(一割二分三厘)伐採總價額に於て九十二萬百五十五圓(二割五分六厘)を何れも増加した、之を種類別に所有別伐採價額を觀るときは次の如くなる

用材	公有		社寺有		私有		計	總價格ニ對スル割合
	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
薪炭材	七、七三三	四、〇〇〇	一、七九九	一、三三三	一、六六六	一、三三三	五、〇〇〇	五割五分〇厘
竹材	〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	四、〇〇〇	四割五分〇厘
其他	〇	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	四、〇〇〇	四割五分〇厘
計	七、七三三	五、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	一、三三三	一割五分〇厘

更に此の用材、薪炭材、竹材を郡別に示せば次表の如くなる(△印は減)

公私有林伐採量 公私有森林の伐採面積は五千七百九十六

郡	針葉樹		闊葉樹		薪炭材	竹材	價額計	前年ニ比シ増減
	圓	圓	圓	圓				
東茨城	七、七三三	七、七三三	一、八〇〇	一、八〇〇	六、六六六	六、六六六	三、三三三	七六〇、九九五
西茨城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五九八、六三三
那珂	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五二一、三三三
久慈	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	八、九九九	八、九九九	八、九九九	三三三、六六六
多賀	三、三三三	三、三三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、二二二	二、二二二	二、二二二	四六、九九九
鹿島	二、二二二	二、二二二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
行方	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
稻敷	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
新治	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
筑波	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
眞壁	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
結城	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
猿島	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
北相馬	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三三、九九九
合計	一、〇〇〇、八八八	一、〇〇〇、八八八	二、二二二、三三三	二、二二二、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	一、三三三、三三三	九、〇〇〇、五五五

林野副産物 次に林野に於ける副産物は總價額三百二十萬九千四圓にして内木炭二百二十六萬四千二百六十四圓(七割二分六厘)柴草五十一萬二千二百三十一圓(一割六分〇厘)樹實及樹皮三十九萬二千九百二圓(一割二分二厘)符二萬七千六百十七圓(〇割〇分六厘)松茸及椎茸六千三百八十二圓(〇割〇分二厘)其の他五千九百十七圓(〇割〇分二厘)である。之を

前年に比すれば總價額二十八萬四千八百二十圓(〇割八分九厘)の増加で之を細別すれば木炭は十五萬五千九百八十六圓(〇割四分九厘)柴草は二萬六百七圓(〇割〇分一厘)樹實樹皮一萬六千七百七十四圓(〇割〇分一厘)を孰れも増加した。

石材土石 林野産物の内石材土石の總價格は百二萬二千五百九十四圓にして内花崗岩六十一萬五千六百四十八圓(六割〇

分二厘)砂利三十二萬六千四百三十圓(三割一分九厘)大理石
 二萬七千二百五十圓(〇割二分七厘)石灰岩二萬二千六百十二圓
 (〇割一分九厘)粘土二萬二千八百圓(〇割一分九厘)其他一萬
 二千七百九十六圓(〇割一分〇厘)にして前年に對比し總額に
 於て二十萬一千五百八十七圓(一割九分七厘)を増加した。種
 類別に於ては砂利十一萬二千九百五十七圓(一割一分〇厘)花
 崗岩八萬八千八百六十四圓(〇割八分七厘)粘土三千八十四圓
 (〇割〇分三厘)其他に於て七千五百十八圓(〇割〇分七厘)
 を孰も増加したが大理石に於ては一萬六千五百圓(〇割一分
 六厘)の減少を示した。

資 源 概 況 速 報

資源統制運用準備上の必要ある趣にて之が速報方に付其の筋から通牒があつたので本縣に於ても去
 る三月二十二日統收第一〇號にて該當事項がある場合には直に速報方通牒を發した。調査事項は

- 一、港灣工場幹線道路其の他の重要諸施設の注目すべき新設閉鎖變更等に付其の名稱所在地及概要の説明
- 二、發見(農産、水産、鑛産、工業等)但し速報を旨とし聞込の程度にても直ちに通報すること。
- 三、研究發明及考案に付其の題目及内容の概況並に研究發明又は考案者の氏名住所及所屬機關等。尙其の工
 業化せられたる場合に於ては事業者の氏名及住所事業内容の概要等

以上の速報様式は通牒中に記載してあるから報告洩にならぬ様注意せられたい。



躍進レールに乗じ

房總より國都に範を求めて

茨城縣統計協會縣外視察紀行

列車はプラットホームに横着けとなつた。最後部目差して進めば中央に高島團長のエビス顔が吾等を迎へて居る。早速事務分擔の變更を申出た處通牒にもある通り變更は困るとの嚴い御達し然も團長の愛嬌戰術には否み切れず且後に控える才氣縱横の記者連を頼みに心許なくも記事の一端を果さんことを約束せざると得なくなり遊々引受けたかうした苦しみも知らず吾等の汽車は目的地さしてひた走りに進み行く。柏驛で水戸よりの一行上中妻の藤地氏、

笠間の成田氏、野口の西村氏、金砂の會澤氏、坂上の田村氏、安中の飯塚氏牛渡の稻生氏と初對面の挨拶をかはし前途の御面倒を乞ふ。漸くにして談笑も弾み、總武ガソリンカーに乗る。乗心地の悪いの上降りしきる雨への嘆聲が聞える。時々職業意識から起る車外の農産物に對する評價の聲が耳に入る。船橋に着いてからも總武線で植付けられた憂鬱な気分は仲々抜け切れぬらしく氣持よい省線電車に乗換へても黙り勝ちだ。餘りに静か過ぎる。皆の緊張した様子を見ると、これが敵陣(敵としての記事の御許しを乞ふ)に乗り込む一瞬間の沈黙かとも思へる。吾等は千葉縣を常に敵として戦ひ續けてゐる。『今度の視察の目的は彼の長を取り、我短を補ふにあり』と云ひたくないのだ。『彼の短を指摘しに行くのだ』と云はんばかりの負けん氣が誰もの眉宇にも表はれてゐるのを見てもそう思へて仕方がない。

六月八日

長驅千葉の粹を求めて我茨城の完備を期さうとして本縣協會の企てた縣外優良町村事務視察第三回派遣隊出發の日だ。

晴れの門出と云ふに天は吾等に辛を惠まざりしか降りしきる霖雨を恨みつゝ水戸よりの一行に加はらうと水海道の小島氏、大寶の横瀬氏、眞瀬の宇津野氏と共に取手に向ふ。待つ程もなく囂々たる車輪の音を響かせつゝ吾等の